



オ イ ス カ

阪神大震災支援活動



THANKS 1.18-4.23



OISCA-KANSAI



まごころをありがとう

おかげさまで

オイスカは、できる限りの支援をさせて頂きました。
多くの方々のまごころに、心より感謝申し上げます。

北海道の
味覚を
あなたへ

北海道の
味覚を
あなたへ

CONTENTS

Contents	1
提言	2
1月の活動	3
2月・3月 支援活動概要	5
炊き出し	7
炊き出しの全経過	9
支援作業	15
浜田公園	17
灘小学校	19
灘在宅福祉センター	20
alacarte	21
修了式	21
ボランティアの1コマ	22
4月になって	23
ボランティア名簿	25

阪神大震災の支援活動は得がたい体験でした。本当に多くの人々の支援なしにはできなかったことです。今、お礼の言葉が見つからないほど、感謝でいっぱいです。

2か月半、実際に活動してみて思うことは、一般の人がもっとボランティアに参加できるように工夫すべきです。今度の場合、たまたま学生の休み期間であったことが、大きな力になりました。反面ボランティアに参加したくても、参加できない人たちも多くおられました。それだけボランティアに関心が高まったのは、マスコミの力が大きいというのも事実でしょうが、日本人の心の底に奉仕の気持ちが残っていると感じました。その気持ちを無にすることなく、少しでも困っている人の手助けできるようにすることが、私たちのようなボランティア専従者の勤めではないでしょうか。

他からのほとんどの県や市などの行政の支援は、地域割りに分担しているようです。ボランティア団体も同様に、責任のもてる団体が地域を振り分けて分担し、そこに参加したい企業や市民・また他のボランティア団体のお世話をする。さらに、行政や他の関係団体と連絡をとって進めていく体制づくりが不可欠だと思います。

オイスカは、今後万が一に備えて関係機関と協議し続けるつもりです。

平成7年1月17日 午前5:46分

1月17日 関西研修センター被害皆無 朝状況把握に努める。9:00~14:30頃まで停電
21:30頃研修生受入企業から電話連絡がある。研修生被災しアパート全壊、けがをする。



エルマーとロドルフの住んでいた倒壊したアパート

1月18日 研修生3名を救助のため、
神戸市灘区に向かう。

11:00すぎ到着。

3名とも元気だったが、
周囲の悲惨さに驚く。

1月19、20日 研修生の治療、会員
等の安否の確認など

1月21日 芦屋方面に水、野菜など
の物資の支援

1月22日 豊能町役場との協議により
被災された留学生、研修生
の受入を発表

1月24~26 オイスカ開発教育専門
学校の職員生徒と一緒に
神戸市中央区、兵庫区で
外国人の実態調査実施



倒壊したアパートの様子をうかがう研修生

M7.2



研修生受入企業へのお見舞い



調査報告をまとめる
オイスカ開発教育専門学校の方々

1月29日兵庫県対策本部訪問

外国人の状況を聞き、現段階での外国人支援は困難と判断（センターが遠いため）代わりに避難所への継続的な支援活動の必要性が判明。灘区の数か所の避難所を訪問し支援内容を決定。帰所後、ただちに新聞のチラシの依頼や豊能町をはじめゆずりは会への支援協力を要請。また本部を通し、各地方組織からの支援を得る。



豊能町婦人の方々へ炊き出しボランティアの説明



豊能町の方々からよせられた野菜などの数々

オイスカ

全国地方組織
(個人会員を含む)

北海道：じゃがいも
 築地：豚じるセット
 (6000食)
 埼玉：ボランティア
 神奈川：野菜・ボランティア
 長野：野菜・りんご
 静岡：食品・ボランティア
 お茶・義援金
 岐阜：職員派遣
 宮崎：野菜・義援金
 鹿児島：焼酎・日本酒
 オイスカ専門学校
 中部研修センター：豚
 四国研修センター：米
 その他

避難所への支援活動 (対象総人員 約5500名)

浜田公園

炊き出し：2/3～3/31 (2/24は修了式のため休み)

毎週火曜日と金曜日 計16回 1回当たり 350食

各種作業：倉庫整理、廃材の回収・裁断、各テントに電球取り付け
 スピーカーの設置、引越しの手伝い等

その他：被災者と学生ボランティアとの交流会の開催。また毎週
 土曜日は鍼灸の小林先生(オイスカ会員)に治療してもらう

青陽東養護学校/神戸高校

炊き出し：2/15～3/1・3/8～3/29 いずれも毎週水曜日

3回・4回 計7回 1回当たり1,200食・300食

灘在宅福祉センター

炊き出し：2/16～3/23 (2/23は修了式準備のため休み) 毎週木曜日
 計5回 1回当たり400食

各種作業：2/14より男性1～2名宿直でボランティア。女性は2/23
 より3名程度宿直で、お年寄りの心のケアのボランティア

3か所での炊き出し総合計 28回
 のべ約11,350食 (対象人員 約2,500名)

灘小学校

灘小学校対策本部運営のボランティア 2/6～3/31 54日間連続

- ・救援物資の搬入搬出、テントの設営、倉庫の管理、炊き出し団体のお世話、被災者へ郵便の配達など全般
- ・常時男性5～8名ずつ宿直してのボランティア

その他

カレンダーの配布

教育開発研究所から寄付された天文と環境の2種類のカレンダーを、
 避難所となっている各小中高の学校へ無償配布した。

古着の提供

日本ベトナム友好協会の依頼を受け、長田区で焼け出されたベトナム
 人24家族86名のために、豊能町の婦人の方にお願ひし、古着の提供。

炊き出し



できた豚汁をわたすボランティア（右の方）



下準備の様子



後片付け



調理器具の運搬



避難所での調理

炊きだしの全経過

2月3日(金) 浜田公園

献立 : 豚汁 (350食)
参加者 : 地元婦人2名、ボランティア4名、職員
調理法 : 薪を使って火を熾し3つの鍋で調理する。
*材料は予め、前日にきざんでおいた。
*湯は現地にて沸かしておいてもらった。

感想 初めての炊き出しで色々戸惑いはあった。きざみの下ごしらえや現地でお湯を沸かしておいて頂いたことで作業は手早くできた。つながりが良かったと思う。

2月7日(金) 浜田公園

献立 : ホワイトシチュー (350食)
参加者 : 地元婦人15名、ボランティア8名、職員
調理法 : 薪を使って火を熾し3つの鍋で調理する。
*材料は予め、前日にきざんでおいた。
*湯は現地にて沸かしておいてもらった。

感想 野菜類が食べたいというリクエストにより、白菜をたっぷり入れてシチューをつくった。飲み水が不足していることで、味は薄味で作るようにしたけれど被災地の皆さんからは具たくさんでこくがあり大変おいしいと好評であった。また、「日にちを決めて炊き出しに来て下さるので被災地側でも計画が立てられ、非常にありがたい」との意見を聞いた。

2月8日(水) 青陽東養護学校

献立 : 豚汁 (1200食)
参加者 : 地元婦人13名、ボランティア8名、職員
調理法 : プロパンガスを使用し、5台のガスコンロでそれぞれ2鍋ずつ、合計10鍋で作った。
(きざみ等の下準備及び、お湯は沸かし済)

感想 設備が良かったので非常にスムーズに作れた。予め現地でお湯を沸かしておいてもらった。コンロの台数と鍋の数を考えて材料を分けた事は手順の良さにつながった。また依頼された1200食は夜暖めなおして食べる分も含まれている。

2月10日(金) 浜田公園

献立 : すき焼き風煮 (250食)
参加者 : 地元婦人13名、ボランティア9名、職員
調理法 : 薪を使って火を熾し、3鍋を使用

感想 少し量が少なかったようで、あたらなかった人が出てしまった。

2月14日(火) 浜田公園

献立 : 山菜おこわ、清汁 (ほうれん草、豆腐) (350食)
参加者 : 地元婦人7名、ボランティア17名、職員
調理法 : センターからガスコンロを持っていき、蒸籠でおこわを蒸す。(14蒸籠) 蒸したおこわに具を混ぜ合わせて、パックに詰める。

感想 山菜おこわは豊能町切畑生活改善グループの方たちが、色々な行事のある時に作られるもので、豊能町の婦人の皆さんから発案された。ガスを使ってお湯を沸かしたのだが、沸くまでにかかなり時間がかかった。お湯が沸いてからは順調に行った。14蒸籠蒸し、2蒸籠残った。おこわは震災以来食べておられず、しかも暖かいものを口にできたということで非常に喜ばれた。

2月15日(水) 青陽東養護学校 献立 : ホワイトシチュー、かす汁(1200食)
 参加者 : 地元婦人13名、ボランティア15名、職員
 調理法 : ガスコンロ使用。8鍋をシチュー、2鍋をかす汁で作る。(材料のきざみ等は準備済)

感想 本来ならば予めお湯を沸かしておいてもらう予定であったのが手違いで準備出来ておらず、又、ガス台の台数も5台のところ3台しか使用できなかったため、でき上がるまでに時間がかかった。量の多い場所では予め材料に熱を加えて来た方がよい。ひしゃく、包丁等細かい器材は用意していった方がよい。

2月16日(木) 在宅福祉センター 献立 : 豚汁(300食)
 参加者 : 地元婦人15名、ボランティア10名、職員
 調理法 : 薪を使って火を熾す。大鍋1、中鍋1。

感想 予定ではプロパンガスを使用して調理する予定が手違いにより、急遽薪を使って作業することになった。慌てて火を熾し、お湯を沸かし、といった状態での作業ではあったが、予定の時間迄に作る事ができた。若者男子らが薪割りや水運びなどを積極的にしてくれ助かった。暖かい汁ものを非常に喜ばれた。

2月17日(金) 浜田公園 献立 : ちらし寿司、清汁(ほうれん草、豆腐)
 参加者 : 地元婦人15名、ボランティア21名、職員
 調理法 : 具は前日に刻み、味つけをしておく。当日朝センターでご飯を炊き、出発前に混ぜ合わせてスチロールに詰めて持って行く。現地でバックに詰め、卵などを飾り配る。

感想 ちらし寿司はバック詰めるだけで、汁物は被災地の方がだしをとっておいてくださったのですぐにでき上がった。とても好評だった。

2月21日(火) 浜田公園 献立 : 豚汁(400食)
 参加者 : 地元婦人15名、ボランティア18名、職員
 調理法 : 薪を使って火を熾す。

感想 400食用意し、少し余った。手順は良かった。

2月22日(水) 青陽東養護学校 献立 : 豚汁(1200食)
 参加者 : 地元婦人11名、ボランティア7名、職員
 調理法 : ガスコンロを使用。

感想 お湯が充分沸いていなかった。10鍋作る予定が7鍋で中止。取りにこられる方が100人にも満たない数で、最終的に5鍋を満杯にして残して来た。今後、依頼された量を検討する余地があると思う。

2月23日(木) 在宅福祉センター 献立 : かす汁、かきなます
 参加者 : 地元婦人2名、ボランティア18名、職員
 調理法 : ガスコンロを使って調理。

感想 持参したガスコンロが不調で、作業が思うようにはかどらず、調理終了が少し遅れたが、好評だった。もう少し、量を増やした方が良いのではないだろうか。

2月28日(火) 浜田公園

献立 : カレーライス、大根の一夜漬け (300食)
参加者 : 地元婦人12名、ボランティア8名、職員
調理法 : ご飯は約一斗は炊いて持って行く。漬物も準備。カレーの材料は刻んでポイル済。残りのご飯とカレーは薪を使って炊く。

感想 ご飯は公園のベテランの方が炊いてくださり、持参したご飯とで量的にはちょうど良かった。カレーはルーが少し足りず、現地のケチャップやソースで味つけをした。少し薄めの味つけではあったが好評でした。

* 前回現地にボランティア入りしている神戸大学の学生さんからの要望により、浜田公園近くの友田公園と横田公園にも50食ずつお願いしたいとの事で、本日から取りに来られることだった。

* 3月3日はひなまつりなので、ちらし寿司をリクエストされ、おすましは現地の方が用意するという話になった。



炊き出し支援物資 (築地支局から)

3月1日(水) 神戸高校

献立 : 豚汁 (350食)
参加者 : 地元婦人12名、ボランティア7名、職員
調理法 : 材料は刻んで下ごしらえして持って行く。
ガスコンロを使用。

感想 神戸高校はガスコンロ、鍋などの調理器具がすべて整っている。また調理した350食は夕食の分で、夕方暖め直して配られるとのことから薄味で仕上げしておく。調理台が狭いので、材料を下ごしらえしておいたのが良かった。

3月2日(木) 在宅福祉センター

献立 : クリームシチュー、煮物 (300食)
参加者 : 地元婦人7名、ボランティア8名、職員
調理法 : ガスコンロと薪を併用し、シチューの具を炒めるまではガスを使って煮込む段階では薪を使って大釜にかけて仕上げた。

感想 煮物は被災地側から要望でもあったせいか、大変好評で、すぐになくなった。シチューも震災後初めての献立ということで、評判が良かった。

3月3日(金) 浜田公園

献立 : ちらし寿司、かきたま汁 (300食)
参加者 : 地元婦人6名、ボランティア5名、職員
調理法 : ちらし寿司はいつものように作って持って行き、現地でパック詰めをした。
かきたま汁は現地の方が準備し手伝った。

感想 ひな祭りにふさわしく散らし寿司は好評だった。分量も丁度良かった。

3月7日(火) 浜田公園

献立 : シチュー、白ご飯、大根の煮物 (300食)
 参加者 : 地元婦人11名、ボランティア6名、職員
 調理法 : シチューの材料は下準備して用意。白ご飯は15升を炊く。薪を使って調理する。

感想 準備や作業には問題なくできた。被災者の人数が次第に減ってきたので、次回からは200食くらいでよいようだ。

* 現地からのリクエストを伺うと魚の煮つけ、焼魚酢の物、バラ寿司、炊き込みご飯、焼きそばなど。

3月8日(水) 神戸高校

献立 : かす汁 (300食)
 参加者 : 地元婦人9名、ボランティア6名、職員
 調理法 : ガスコンロを使用

感想 設備も整い、夕食調理のため作業は簡単であった。被災者の方から「前回もとてもおいしかった」と、お礼を言って頂いた。楽しみにされている様である。

3月9日(木) 在宅福祉センター

献立 : 中華丼 (300食)
 参加者 : 地元婦人10人、ボランティア6名、職員
 調理法 : ガスコンロと薪を併用して調理

感想 ご飯が少し足りなくなり、アルファ米(インスタント)を使用。最終的に量的にはちょうど良かった。大変好評でした。 * 次週は焼き魚を希望です。

3月10日(金) 浜田公園

献立 : カレーライス、サラダ (250食)
 参加者 : 地元婦人12名、ボランティア6名、職員
 調理法 : 薪を使ってカレーを作る。白ご飯は準備して行く。サラダの野菜は婦人の方が自宅で刻んで行く。

感想 今日は朝から風と雨でテントに水がたまり、被災者の皆さんの苦勞がしのばれる。炊き出しの方は、カレーの味も良く、サラダも野菜もたっぷりで非常に喜ばれました。

3月14日(火) 浜田公園

献立 : 白ご飯、さんまの炭火焼き、
 ほうれん草のおひたし (200食)
 参加者 : 地元婦人8名、ボランティア7名、職員
 調理法 : ご飯は炊いて用意していく。
 さんまは木炭を利用し、金網の上で焼く。

感想 魚はめったに口にできないらしく、かなり好評であった。天候も良かったためか、比較的簡単にできたが、炭焼きは時間がかかる。現地の方でみそ汁を作られ温かいご飯と焼きたてのさんま、ほうれん草のおひたしといったメニューでとても好評だった。

3月15日(水) 神戸高校

献立 : けんちん汁 (350食)
 参加者 : 地元婦人7名、ボランティア7名、職員
 調理法 : ガスコンロを使って調理

感想 今回は、救援物資の缶詰めの具(豚汁用)を利用して調理した。先週より少し量を少なくした。また「先週のかす汁はとてもおいしかった」と言う評価を得た。

3月16日(木) 在宅福祉センター 献立 : 白ご飯、さんまの炭火焼き、
ほうれん草のおひたし(300食)

参加者 : 地元婦人6名、ボランティア7名、職員

調理法 : ご飯は炊いて持参。さんまを炭火で焼く

感想 残念なことに雨天だったので、炭を起こすのに大変苦労した。途中ガスコンロが使えることに気づき、ガスで炭を起こした。テントの中の土の上は雨でグチョグチョになり作業はとてもしにくかった。また、外から取りにくる方が足を運ばなかったため、予定の人数分がさばけなかった。この場所での焼き魚は初めてでしたが、非常に好評であった。被災地の方も以前より明るくなられ、「おいしいです」と丁寧に挨拶される姿からは、心のゆとりを感じた。

3月17日(金) 浜田公園 献立 : 炊き込みご飯、野沢菜(250食)

参加者 : 地元婦人6名、ボランティア8名、職員

調理法 : 炊き込みご飯はセンターで準備しスチロールに詰めて持参。現地にてパック詰め。

感想 作業としては、パック詰めだけで配給までに時間があるということと、汁物もあったほうが……との声から、現地にある救援物資のソーメンを利用してお汁物を作ることにした。救援物資の有効利用ということも含め、とても良かった。また食欲のないというお年寄りの方には非常に好評でした。オイスカの用意する。食事はいつもおいしいと評価を得て帰ってきた。

*今後のリクエスト、中華丼、焼きそば、筑前煮。

3月21日(火) 浜田公園 献立 : 中華丼、うずら豆(200食)

参加者 : 地元婦人5名、ボランティア10名、職員

調理法 : 薪を使って調理する。

材料の下ごしらは済

感想 道がすいていたので早く到着した。そのため準備も早くできたので余裕があった。うずら豆はラップやホイルに包んで配った。いつもながら大変好評でした。

3月22日(水) 神戸高校 献立 : ホワイトシチュー、大根の煮つけ(300食)

参加者 : 地元婦人10名、ボランティア5名、職員

調理法 : ガスコンロを使用して調理する。

大根の煮つけはオイスカで用意。

感想 材料はちょうど良かったが、人数が減って来ているので次回からはもう少し、量を減らしてもよいかも。来週はカレーライスの手配。ご飯は、現地の方が用意するとのこと。次第に被災地の方がたの自立が見うけられる。



炊き出し物資を運ぶ研修生

3月23日(木) 在宅福祉センター 献立 : ちらし寿司 (300食)
 参加者 : 地元婦人8名、ボランティア10名、職員
 調理法 : ちらし寿司はオイスカで準備していく。
 現地にてバック詰めをする。

感想 汁ものがなかったのでバック詰め作業だけで人手は充分だった。合計320バック詰めたが足りなくなった。恐らくバックであることで持ち帰り易いことから、余分に持っていかれたと思う。登録制でないのでこればかりは対処のしようがない気がする。錦糸卵、グリーンピースが色ばえしてとても好評であった。

3月24日(水) 浜田公園 献立 : 焼きそば (200食) 白ご飯
 参加者 : 地元婦人5名、ボランティア5名、職員
 調理法 : 材料はきざんで下ごしらえをして行く。
 薪で火を熾し、鉄板を使って調理する。
 でき上がり後は発泡スチロールの皿にのせて配る。白ご飯はセンターで炊いて持参。

感想 簡単にできると考えていたが、鉄板が1枚しかなく数回に分けて調理したため割合時間がかかった。結果、11時30分頃にできたので、出来たての暖かい状態で配ることができた。量はちょうど良かった。ご飯はいらないと言われる方が多くたくさん残ったので、おにぎりにして置いてきた。

3月28日(火) 浜田公園 献立 : 筑前煮、なます、白飯 (150食)
 参加者 : 地元婦人10名、ボランティア6名、職員
 調理法 : 薪を使って調理、材料は下ごしらえ済
 なますは調理済

感想 具がたくさん(鶏肉、レンコン、にんじん、里芋、椎茸、さつまあげなど)入っていて、味つけも美味しくでき、取りに来られる皆さんに好評でした。

3月29日(木) 神戸高校 献立 : カレーライス (300食)
 参加者 : 地元婦人9名、ボランティア5名、職員
 調理法 : 材料は下ごしらえ済
 ガスコンロを使用して調理
 * ご飯は現地の人たちが炊く

感想 材料的には丁度良かった。作業は手順もわかってスムーズに行けた。たいへんおいしくできた。

3月31日(金) 浜田公園 献立 : ちらし寿司、ほうれん草の胡麻和え
 参加者 : 地元婦人8名、ボランティア11名、職員
 調理法 : ちらし寿司は予め作って行く。
 ほうれん草の胡麻和えは現地で和えるだけにするように茹でて行く。
 清汁は現地で作る

感想 清汁のだしをとっておいて頂くことになっていたのが、手違いで出来ていず、慌ててとったため、今ひとつ薄くて残念でした。ちらし寿司は320バック詰めて、40パックは友田公園、50パックは他の所へ、50パックは現地に残してきました。たいへん好評でした。本日は支援活動の中で最後の炊き出し作業でしたが、特別大きな問題もなく無事終了出来ました。浜田公園の皆様も、「いろいろなリクエストに答えてくださって、本当にありがとうございました」と喜んでくださっていました。
 みなさまご苦労様でした!

支援作業



3,000名以上分の救援物資の配給（灘小学校にて）



テントの設営



廃材の回収



薪用に切断



事務整理



震災当時の様子を学生ボランティアに語っていただいた

浜田公園

国道42号線に沿って細長く伸びた狭い公園に、自衛隊のテントを始めキャンプ用の色とりどりテントが並ぶのが避難所だった。初めは200人から300人とも言われる人達が避難生活をしておられた。オイスカは兵庫県の話聞き、被災された人達に何かお手伝いをしたいと言う気持ちで支援活動始めた。避難所の中はほとんど年配の人でしめられており、寒い中でのテント生活は年寄りにとって大変なものであった。こうした中での支援活動、炊き出しは、年配の方々に少しでも暖かいものを食べて頂こうと思い、多くのボランティアの人達の力を借りて、思ったような活動ができた。

支援物資の整理と配布の手伝い



放送設備の取り付け



指圧と針治療

長い期間避難所生活をされている年配の人達の健康を考え、指圧の先生（会員）の協力を得て実施。大変感謝されました。





配給風景

灘小学校

灘区は被害の大きかった所で多くの方々が、亡くなっておられる。その中でも灘小学校の回りは被害がひどく多くの家が倒壊していた。避難所の灘小学校には初め約3200名以上の人達が避難災しておられ、人数が多いため炊き出しは出来なかった。しかし、物資の支給や整理や、食事（弁当）の分配などを手伝い、オイスカのボランティアに参加した人は学生ボランティアを初め企業のボランティアの人達が数多く、泊まり込みの活動となった。被災者の中でもリーダーの人達と心のつながりが出来活発な活動が出来た。被災者の人達からも心から感謝され、期間が来て引き上げる時には涙を流す光景が数多く見られた。こうした感動は、ボランティアに参加した人達だけでなく被災者の人達にも、心の中に大きく残っていくと思います。



廃材運び 道の左側：灘在宅福祉センター
道の右側：一角すべてが全焼

灘在宅福祉センター

灘小学校と違い在宅福祉センターは周りが火災に遭い、木造はほとんど灰になっていたがビルや自動車などはサビが出ており、見るも無残である。ここでも多くの人達が亡くなっておられ、被害の大きさを思い知らされた気がする。在宅福祉センターは他の二か所と異なり、ビルの建物自体が避難所となっていた。ここも年配の方々が多く、寒さは余り心配は無かったが、心のケアがもっとも必要だった。泊まり込みのボランティアも行い、特に女性の学生の人達に参加してもらった。年配の人達の話の聞き役が良かったようです。こうした事は、若い人たちの勉強になった様で、被災者の人達から感謝されていました。

第21期実技研修修了式

被災したフィリピンの3人の研修生も無事修了し帰国いたしました。



初めてオイスカ関西総支部会長
宇野收氏（関西経済連合会相談役）
を迎え、心温まる修了式を行うこ
とができました。



alacarte

ボランティアの1コマ



眠る! 交通事情が悪く往復8時間かかった結果



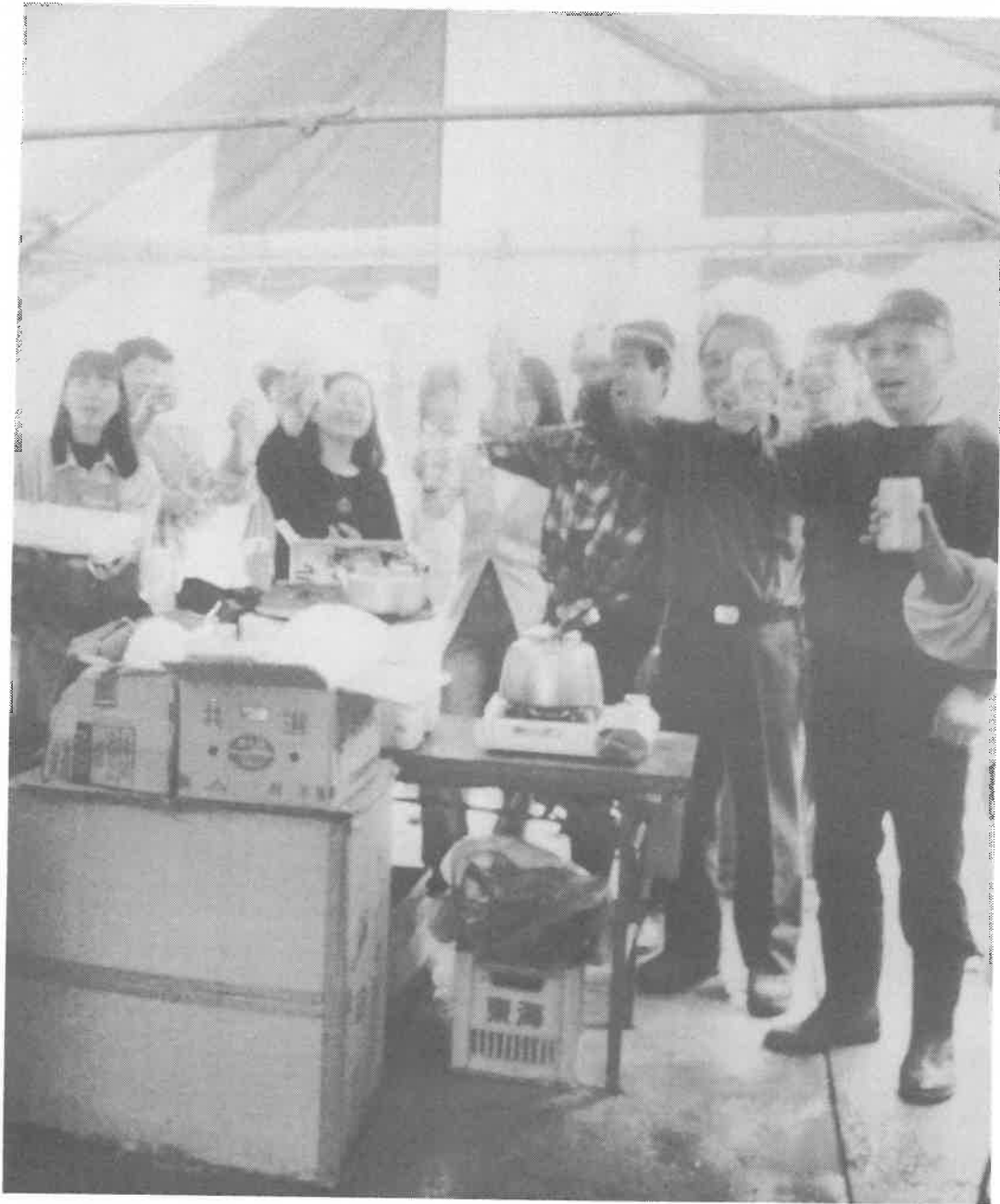
千羽鶴 入院している方に届けました



不慣れ 食事の支度が何となくそう思える?



反省会 帰る前夜に様々な感想を話してもらった



4月8日 お花見をかねた懇親会

4月23日 もちつき大会

これからはガンバツテください
4月になって徐々に、仮設住宅やマンションなどに移り住む方が増えてきました。オイスカは3月いっぱい支援活動を終了させて頂きました。今後とも何かお手伝いできることがあれば、支援活動を続けいきます。



オイスカのニューフェイス溝田さんのひと振り



研修生といっしょに歌う



長野県支部から寄せられたりんごです



お花見の1シーン

ご協力ありがとうございました

ボランティア

茨城	広瀬かおり	長野	寺田沙矢子	水上 衛	石原早苗	北上弘	谷 充子	近本明子	増田充男	
	太田美帆	岡留功治	中島道治	桃山裕美	今井 厚	池田信子	木村美恵子	玉置京子	中馬洋子	松田ひろ子
	吉田貴司	小藤田敦也	富山	竹安裕美	伊藤 忠	岩木康子	栗波真理子	谷本京子	寺田沙矢子	前西発司子
栃木	隠善秋穂	谷 保道	泉田竜也	中桐ヒロミ	生野和夫	久保豊茂	高木紀子	徳橋洋子	宮田照子	
	原田佳子	赤坂可奈子	愛知	今井智己	小池浩樹	磯部雅也	久保塔恵	谷 明子	徳橋正規	宮川悦子
埼玉	芳森耕司	宮地裕子	清水宏行	末霞友和	井上キヨ子	日下櫻子	高木サチ子	富松さだみ	溝手洋子	
	塩沢浩司	小島伸明	岩瀬徳宏	林 敏治	森下 薫	石原早苗	工藤富子	高野みち子	友田華子	三宅啓子
	伊藤昭仁	鈴木謙吾	静岡	広島	武田佳穂里	上田千鶴子	熊巳紀恵	高井道博	鳥越啓司	宮本弘
	峯岸まり子	白幡彩美	立木すみえ	水口章史	山岡啓介	植村京子	小林球枝	玉置洋子	野瀬弘	右下ひろみ
	山崎和之	目時 厚	稲葉由起	山口	落合 淳	上林栄子	幸田陽子	多田僚子	林 治代	宮崎弘
	堀切 宏	土屋昌史	市川智子	荒瀬鉄志	西岡靖就	上野昌子	幸田亜希子	高重美智子	蓮池久仁子	村上滋子
	豊嶋信也	坂井徳方	高梨庄二	福岡	北瀬 薫	上田己代子	小泉香穂子	高橋弘	畑中 操	村上久華
	辻 鉄也	長谷部綾	元持義人	天野保之助	小島保仁	梅田弘	古閑啓子	高橋君子	林 良子	村田千恵子
	千葉順子	松林 功	塚本桂次	中島安之助	篠田実香	恵木真知子	後藤智恵	中村恵美子	橋本正子	向井京子
千葉	田中美保子	伊藤 遼	SONY	宇野雅博	荒木弘	古閑寿満子	中村弘子	速水葉子	向井美佐子	
	真家克彦	中村紀匠子	馬淵博史	渥美 純	炊き出し	岩間弘	講主由喜	中川育子	林 洋子	室木真知子
	吉田幸夫	神奈川	浅野さくら	西村拓也	阿曾順子	奥田智子	小林利江	中川加代子	早見美代子	持田和子
	木邑優子	永井信男	大阪	黄川田潤	秋元美智子	大久保里美	小寺沢太石	中川亜津子	林 圭子	望戸多美子
	木村 徹	吉田泰子	丹生卓也	伊藤みゆき	荒井保子	尾形孝子	柴田邦男	仲田美津代	春田キヨ子	山中景子
	近藤千穂	小川春樹	豊田浩子	八重樫弘樹	阿山幸恵	大西のり子	酒井覚司	中島佳子	長谷川俊子	山田よし子
	小松いずみ	深沢 香	隅田 史	籠 慶一	青木光恵	大山慶子	佐桑佳代子	中山けい子	林のぶ子	山岡かおる
	桜井かおり	田中晶子	日置麻智子	曾我真紀	青木 学	岡田容子	坂本弘	中条てる子	原野弘	山本みえ子
	宮内貴子	田中智子	築地安規子	高山貴広	青山和子	尾崎和代	佐藤みね子	波江絹子	濱本房子	山田 健
	田村厚志	高野精久	渡部 保	粟津恭一郎	赤松雅一	奥田民子	下垣千代子	なら原朋子	菱山規代美	山川孝子
	杉山祥子	吉田秀雄	利田啓介	石川圭佑	阿部よし子	岡田収子	清水登代美	中戸まや	平田篤資	山浦光子
	佐藤愛子	梅沢智昭	谷 直紀	小松 潤	赤木ゆう	岡島弘	四位好子	永井美智子	平井佐江子	山内秀光
	雨谷直隆	島野日穂	道満高幸	吉井奈々美	青木てるみ	大重弘	首藤直喜	中牟田弘	広田慎子	矢吹泰子
	花輪 淳	石神恵美子	五味鉄勝	岡田宏一	阿曾裕子	片山ヤス子	柴 雅世	波野弘	船戸晃子	矢政弘
東京	白幡麻美子	田辺恵美	金子恵美	安藤千波	河村弘	新谷由紀子	長尾きみ子	深井 綾	山下千代子	
	吉田庸子	河本貴子	坂本恵子	村上広義	伊賀善郎	河崎 弘	隅田 史	西垣内教子	藤林太一	吉住理恵
	高木秀男	赤石由起子	川口貴代	川村 智	伊野美佐子	川西厚子	杉山ますみ	西垣千恵美	深田陽子	吉本真美子
	高木晴恵	中山 尚	中田重夫	都築佳子	一丸まり子	金子洋子	鈴木 健	西山尚美	福地 連	吉村えつ子
	杉浦浩司	清水都貴	尾越りか	鎌田晃子	井田昌子	鎌田剛弘	諏訪元美	西原政子	藤本登美枝	吉本可永子
	伊東ゆかこ	森山聡子	梅本祥平	谷合忠良	石山佳代子	利田利子	鈴木喜美子	西野麗子	藤村ひろ子	吉川順子
	上甲エミ	佐々木賢一	浦川明士	遠澤芳一	池内ヒロ子	梶本文子	杉山澄子	西村芳子	松元照子	米沢千鶴
	石上康宏	山梨	阿曾裕子	大湯正志	石場磨須子	菊川紀子	住原スミ子	西村はるみ	松浦富美子	吉田昭子
	宮本きり子	東野啓恵	斉木又万	中野利雄	石川純乃	紀井房子	末吉光明	西村裕子	桃見靖子	吉村香保子
	木津嘉子	東野和恵	石井善子	高橋洋行	磯部雅彦	木下妙子	杉本弘	中村松代	松成桂子	和田喜美子
	宮川典子		藤村弘子	富田秀実	井上キヨ子	教野洋子	武部武男	中斉陽子	松成初博	



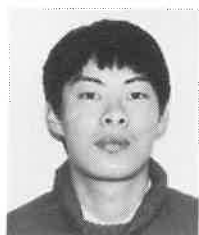
OISCAの腕章を作成



国際文化交友会さんから
頂いたカレンダーを阪神
地区の各学校に無償配布
しているボランティア

編集後記

目まぐるしかった支援活動の中で作成したデータのため、不備は多いはずですが、記載もれも多いとは存じますが、こういう緊急ということでご容赦頂きたくお願い申し上げます。それでも多くの人の協力によって、何とか発行にこぎつけた。支援活動期間中から原稿整理を快くやって頂いた女性ボランティアのひとりひとりにまずお礼を言います。次に新しくセンターに入ってきた山口君と溝田さん、さらに印刷をお願いした(株)Prestoさんに心から感謝しています。その他オイスカを支援して頂いた皆さまに感謝の気持ちをこめてこのレポートをお送りします。今後ともご支援・ご協力をお願い致します。



OISCA-KANSAI



財団法人 オイスカ産業開発協力団



- 関西総支部 〒541 大阪市中央区南久宝寺町4-1-2
☎(06)244-2366 FAX(06)244-9422
- 関西研修センター 〒563-01 大阪府豊能郡豊能町吉川1120
☎(0727)38-3699 FAX(0727)38-3901
- 本部 〒168 東京都杉並区和泉3丁目6番12号
☎(03)3322-5161 FAX(03)3324-7111

